

京都エコ・エネルギー戦略会議の主要論点（たたき台）

1 エコ・エネルギーをめぐる課題について

- ① 東日本大震災と原発事故後のエネルギーを巡る諸問題を、京都府なりの視点からどのように捉えるべきか。
 - ・ 安全性の視点から
 - ・ 安定供給（安全保障）の視点から
 - ・ 経済・産業の視点から
 - ・ 環境の視点から
 - ・ 府民の価値観やライフスタイルの視点から
 - ・ 地域の視点から（エネルギー地産地消・地域の活性化など）
- ② 今日のエネルギー問題を解決していくうえで、国とは異なる観点から、京都府、市町村、地域、府民がどのような課題意識を持ち、どのような役割を果たしていくべきか。

2 京都府におけるエコ・エネルギーの将来ビジョン等について

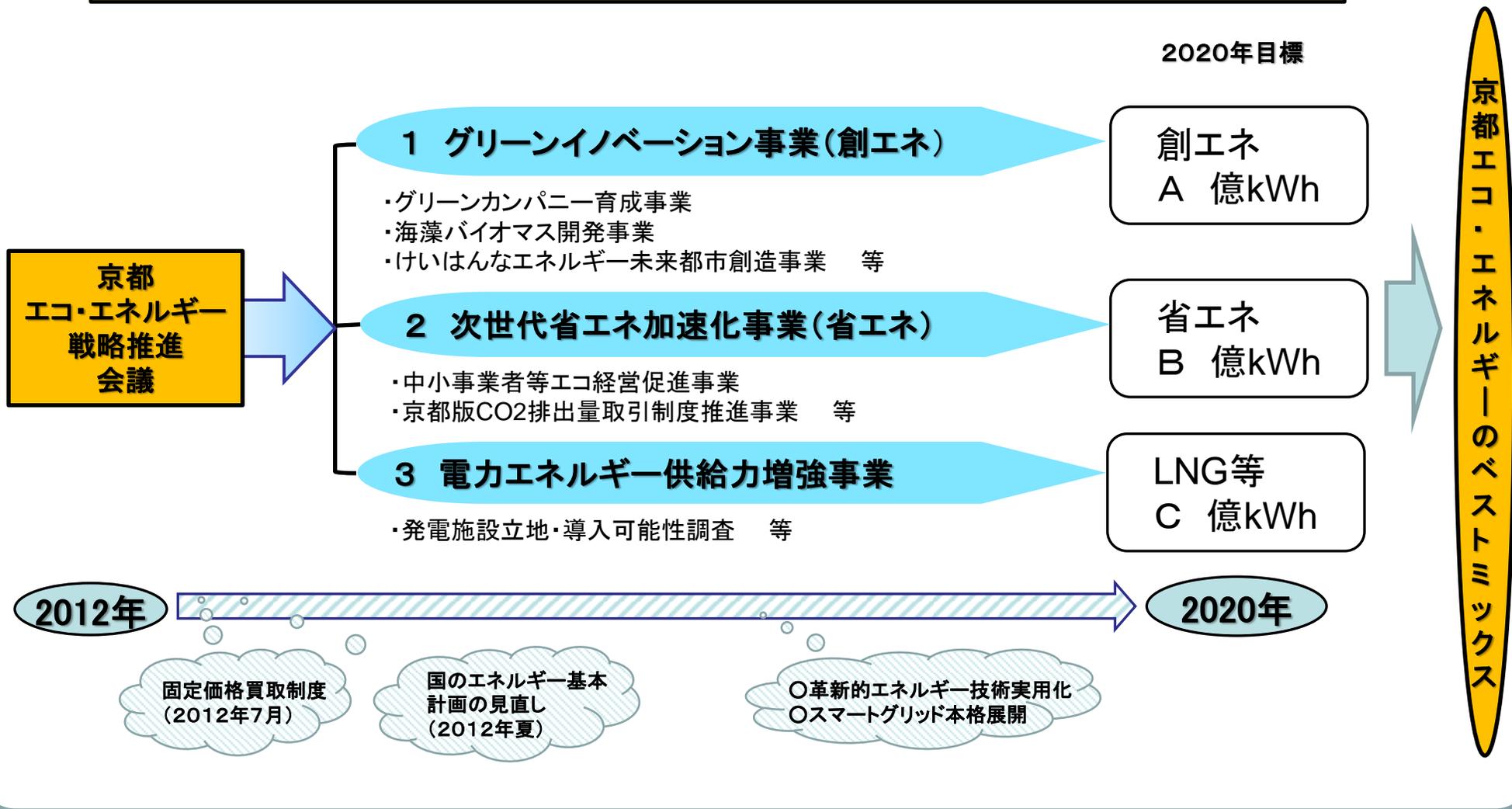
- ① 上記1を踏まえ、京都府のエコ・エネルギーに関する将来ビジョンをいかに描くべきか。
- ② ①の将来ビジョンに即して、省エネルギーや再生可能エネルギー（創エネ）に関する具体的な目標をどう設定するか。さらに、化石燃料の中でも環境性に優れたLNG発電などの利用をどのように位置づけるか。

3 具体的な戦略について

上記2を実現するために、京都府としてどのような政策を講じるか。市町村とどのように連携するか。また、国や電力事業者に対して何を求めていくべきか。

- ・ 省エネ型ライフスタイルや社会経済システムに向けた社会基盤（ハード・ソフト）整備
- ・ けいはんなエネルギー未来都市（省エネ・エネルギーマネジメント）
- ・ 再生可能エネルギーの普及促進
- ・ グリーンイノベーションのための研究開発の加速化
- ・ 再生可能エネルギーの普及や省エネの促進に資する産業の育成強化
- ・ 府内の地域資源や地域特性を踏まえたエネルギーの地産地消、地域活性化策の検討
- ・ LNGに関する府内における発電所や備蓄基地等の立地可能性 …など

京都エコ・エネルギー戦略のイメージ



▶ 2020年 関西電力管内原発7基が稼働40年経過 (運転停止) → 府内で40億kWh相当の影響